

AREC・Fiiプラザ 第142回リレー講演会

品質管理・生産管理分野

■日時：平成25年2月21日（木） 15:00～18:00 ※終了後、交流会開催

■場所：AREC [上田市産学官連携支援施設] 4階

(上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel:0268-21-4377)

講演1

15:00～16:00

演題『品質管理と日本のシルク産業』

講師：信州大学 繊維学部 教授 日本シルク学会会長 三浦 幹彦 氏

概要 日本が世界最高品質のシルクを生産できるまでに至った背景には、他産業に先駆けて統計的品質管理を導入し、独自の生産管理法を確立した歴史があります。ここでは養蚕から製糸にいたる工程を例に時系列解析、実験計画法、信頼性解析などに関連した日本シルク産業の品質管理への取り組みの歴史を眺めます。また、すでに消えかかっている日本のシルク産業ではありますが、この歴史の中で育まれた精神は現在でもシルク研究者の中に受け継がれています。現在行われている研究から、その一端を紹介します。

講演2

16:00～17:00

演題『電気計測器のEMC設計と品質課題』

講師：日置電機株式会社 品質保証部 QE課 係長 宮沢 公一 氏

概要 電磁環境によるEMCの影響が社会的な問題としてクローズアップされている昨今、電気計測器も高速処理技術に伴いデジタル化、高集積化、高周波化が進み、計測性能はもとよりその正確性、安全性の確保にはEMC設計を欠かすことはできません。当社ではEMC障害によって影響を受けない、与えない電気計測器をお客様に提供できるようEMC設計を品質課題として様々な取り組みを行っています。このEMC設計を中心に当社のEMCの取り組みをご紹介します。

休憩

講演3

17:00～18:00

演題『品質問題解決手法』

～品質実務関係者にとって役立つ2つの問題解決手法～

講師：技術コンサルタント 高 義雄 氏

元 SONY 株式会社、及び 東京特殊電線株式会社にて
電子部品の開発、設計、製造技術、及び品質管理業務に従事

概要 品質問題の原因追究と対策を誤りなく、且つ効率的に進めるには論理性を必要とします。経験豊かな人は必然的に既に身につけているかも知れません。しかし重要な問題であればあるほど意識して客観的、論理的に取り組むことを要します。特に関係者（顧客）の納得を得るには、そこで私の実務経験から、品質関係者が常識的に概要だけでも知って欲しいものから、①問題事象そのもの、②その問題を生じさせた管理的問題、の2面からの取り組み方、進め方のプロセスを紹介します。

主催:AREC・Fiiプラザ/財団法人上田繊維科学振興会 共催:公益財団法人長野県テクノ財団 浅間テクノポリス地域センター

●お申込先 AREC・Fiiプラザ事務局 宛

メール (mousikomi@arecplaza.jp) またはファックス (0268-21-4382) でお申し込みください。

AREC・Fiiプラザ 第142回リレー講演会 参加申込書

(平成25年2月21日)

企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		

※ご記入いただいた個人情報(御社名、所属・役職、氏名)は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません